

第6回 屋代保育園改築事業基本計画検討委員会会議録

日時 令和3年12月23日（水） 午後13時30分～午後14時50分
場所 千曲市役所3階 302会議室
出席委員 12名
欠席委員 0名
事務局 次世代支援部長、保育課長、保育施設係長、保育施設係
特定非営利法人SCOP
傍聴者 0名

1. 開 会

事務局)

お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。当検討委員会事務局の保育課長 小河原です。よろしく願いいたします。

本日の会議ですが、新型コロナウイルス感染症対策の上、開催しております。会議が長時間になりましたら、途中で換気のため、途中で換気のための休憩を入れますが、極力会議が短時間で済むようご協力をお願いいたします。

本日の傍聴希望は今のところございません。

それではただ今から第6回千曲市屋代保育園改築事業基本計画検討委員会を開会いたします。

つづきまして、委員長よりご挨拶をお願いいたします。

2. 委員長あいさつ

委員長) 本日は大変お忙しい中、第5回屋代保育園改築事業基本計画検討委員会にご出席をいただきありがとうございます。

会議に先立ちましてひとことご挨拶申し上げます。

前回10月の第5回委員会では、屋代保育園の施設に求められる規模や機能についてご意見をいただきました。

今回の第6回では、これまでみなさまにご審議いただいた内容をもとに作成した基本計画（素案）についてご意見を頂きたいと思っております。

短時間ではありますが、皆さま方の積極的なご意見により屋代保育園基本計画がこれからの千曲市の保育の礎となることをお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日は宜しく願いいたします。

事務局)

ありがとうございました。これから会議事項に貼る前に資料の確認と、会議の流れに

ついて事務局から説明させていただきます。

事務局)

皆様お疲れ様です。保育課保育施設係の寺澤です。よろしくお願いたします。今日の資料ですが、事前に皆様にお送りさせていただきました、屋代保育園改築事業基本計画の素案と、机に置かせていただいた、先日竣工式を行いましたあんずの里保育園のパンフレットがあります。この内容については後程ご説明申し上げますのでよろしくお願いたします。今後の流れについて説明したいと思っておりますので、全面にあるスクリーンをご覧ください。

本日第6回の検討委員会で皆様からご意見をいただく中で修正作業を行った後、来年1月中旬に入り、皆様に郵送で冊子になった形の素案を送ります。そこで2週間ほど時間をとり、そこからさらに皆様からいただいた質問や意見などに基づいて修正を加え、出来上がったものをパブリックコメントに挙げる予定です。千曲市のパブリックコメント手続き要綱により、30日以上パブコメを行うこととなっており、市民の方の意見を広く募ることとなっています。この期間も考慮すると概ね3月上旬までパブコメの期間を経て修正作業を行い、その後第7回の検討委員会を開催し、皆様に基本計画をお示しさせていただきます、内容の確認をしていただきたいと思います。そこからさらに最終的に内部で決裁をとり、基本計画が策定される。という流れになっていますので、よろしくお願いたします。

事務局)

お送りしました資料は皆様お手元にあるでしょうか。(全員あることを確認)

ここからは会議事項に入りますが、本委員会要綱第6条第2項の規定によりまして、小川委員長さんに議長として、会議の進行をお願いいたします。

3. 会議事項

委員長) それでは会議事項に入りますが、その前に事務局より、先日竣工した「あんずの里保育園」について、概要説明がありますのでお願いたします。

事務局)

あんずの里保育園の概要を説明させていただきます。パンフレットと前方のスクリーンを見ながらとなります。

建設場所ですが、生萱区の東部体育館北側になります。敷地面積は3427㎡で、建築面積は1160㎡となっております。建物の構造は鉄骨造平屋建てとなっております。次に間取りの説明をします。建物はL字型であり、園庭を囲むように園舎が配置されています。中央に事務室があり、全体を事務室から見る配置になっています。建物南側0～2歳児室、L字型の建物の角に給食調理室と遊戯室を配置し、

東側に3～5歳児室を配置しています。各部屋の構造ですが、(写真で0歳児・3歳児室を説明)0・1・2歳児には床暖房があり、日差しも十分に入る部屋となっています。3歳児以上の部屋は冷暖房を完備しており、腰壁などに木材を使用しています。給食室は調理員さんの動線や作業効率を考慮して配置をしました。また、床は水拭きをしないドライ方式を採用し、衛生的に管理できるようにしています。機器については最新式を取り入れています。遊戯室は鉄骨造りではありますが、腰壁等に県産材・地域産材(千曲市産材)の木を使用しており、木質感・あたたかみのある作りとなっています。天井も高く、かなり広い空間で遊べる空間となっています。プールについては、敷地の一番東側にあり、日差し除けがあり、強い紫外線への対策をとっています。廊下は幅を広くとり、ところどころに本棚やベンチを設置してあり、廊下で共通の空間をとり、みんなで本を読んだり遊んだりできる空間にしています。テラスは送迎用に下屋を深く作り、雨の日でも快適に行き来できるようにしています。設備の方ですが、屋根に太陽光発電、蓄電池をつけ、災害時に非常電源として活用できるようにしています。また、夜間に撮影した写真ですが、4～5時が暗い今の時期ですが、明るい外照明で足元も暗くなく、お迎えも安心してできるかと思えます。以上となります。

あんずの里保育園は1月から開園となりますので、現在引っ越し作業を進めているところでございますが、参考にしていただけたらと思います。

あんずの里保育園の説明は以上となります。

委員長)ありがとうございました。では会議事項に入ります。事項ごとに資料にしたがい、事務局より説明があります。委員の皆様は、質疑・ご意見のある場合には、事務局の説明が終わりました後に簡潔にお願いいたします。

会議事項(1)屋代保育園基本計画(素案)について、事務局より説明をお願いします。

(1) 屋代保育園基本計画(素案)について

事務局)どうぞよろしくお願ひいたします。

お手物とにある資料の素案ですが、年明けには計画書という形になり、皆様に書面で決議いただくようになります。

最初に目次がありますのでご覧ください。「本編」というところをご覧ください。1.に背景・趣旨、2.に建設予定の概要についても記載しています。3.に基本的な考え方があり、実現すべき保育等についてまとめております。そして4.に整備における詳細条件を記載していますが、前回いただいたご意見をまとめたものになっています。今回は主にこの4.の部分をご確認いただきたいと思いますと考えています。最後に予算スケジュールは計画書ができる段階で載せる予定です。また、現状の想定では資料編として、検討委員会で議論したもの、検討に用いた資料を計画につけようと考えています。全体

の構成としてはこのような形になっています。

本日時間も限られています。1～3は前回までの議論を踏まえたものになっていますので、ざっくりとした概略を説明したいと思います。

1. 背景と趣旨

(1) これまでの経緯

表にあるとおり、あんずの里保育園に加えて優先度としては一番高いということで、市内保育園で最も早い段階で整備が始まり、順次他の園も整備を進めることになっています。

(2) 計画の目的

個別施設計画に基づき、優先度の高い屋代保育園の建築に当たって満たすべき条件や実現すべき内容を定めることが目的となります。今後、基本・実施設計を発注する際、設計する人がこの基本計画を基に立案できる指針を定めるのが目的となっています。2022年度に設計が始まり、2023年度に建設工事、2025年度に開園という予定になっています。

2. 建設予定地

(1) 地域の特徴

立地する地域としては市街地であること、自然環境に乏しいところがあることなどがまとめられています。アクセス環境としてはインターチェンジや屋代駅から近いことなど記載しています。

(2) 建設予定地の概要

道路との接続状況や幅員、送迎時に渋滞の恐れがあるなどの懸念点など記載しています。また隣接地にあたっては宅地や果樹園、緑地に囲まれていること、北西の方は国道とも近く騒音等もあることを記載し、現地のイメージがわかるようにしています。

3. 基本的な考え方

(1) 屋代保育園において実現すべき保育

前々回に議論したものです。国の保育に関する考え方、千曲市の保育の考え方、そして屋代保育園としてどういった課題や求められていることなどを整理しています。皆様に検討した内容が載っています。

そして屋代保育園の保育の方針を3点にまとめて記載しています。

- ①多様な体験や交流を通じ、園児ひとりひとりの自主性・協調性を培う
- ②様々な用途に対応できる空間で、多様な保育ニーズに対応する
- ③自然なコミュニケーションを通じて、家庭や地域と連携する

これらについて、実際の設備を作るにあたって、どうしたらいいのかという部分を(2)にまとめています。

(2) 施設整備において実現すべきこと

- ・ひとりひとりの興味から自主的活動を引き出す空間
- ・様々な自然に身体に触れ、体験できる空間
- ・オープンで行き来の自由な空間
- ・可動性・汎用性がある様々な使い方に対応できる空間
- ・保育士と親のコミュニケーションを促進する空間

施設を整備するにあたっての詳細な条件を次に書いています。

4. 整備における詳細条件

(1) 屋代保育園で提供する保育サービス

0歳児で10名、1・2歳児でそれぞれ15名、3・4・5歳児でそれぞれ20名、合計100名として設定しています。ほか時間等を記載しています。

(2) 必要となる諸室とその条件等

前回協議いただいたものになります。各部屋の詳細な条件を定めています。例えば、保育室であれば、オープンで行き来の自由な空間、可動性・汎用性がある様々な使い方に対応できる空間という実現すべきことに対して、条件として各部屋を完全に区切らず、保育士がそれぞれに注意できるよう配慮する、などと定めています。ほか遊戯室や食事のための空間、管理の空間や屋外空間など定めています。

具体的な部分を次の(3)で定めています。恐らくここが計画で一番重要になる場所かと思えます。来年の基本設計の際、建築設計の専門の方が、この部分を熟読し、設計にあたります。この部分を読んで、屋代保育園で重視している箇所を理解し、想像してもらえらるような内容にします。

設計士さんに対して、我々が伝えるべきもの、イメージしやすいものを書いておくのが重要かと思えます。そこで是非皆さんにご意見をいただければと思います。

前回まで皆さんにいただいたご意見をすでにここにまとめています。

各項目をご覧ください。

- ①保育室において実現すべきこと —各項目の読み上げ、説明—
- ②遊戯室において実現すべきこと —各項目の読み上げ、説明—
- ③共通空間において実現すべきこと —各項目の読み上げ、説明—
- ④外部連携と管理の空間において実現すべきこと —各項目の読み上げ、説明—
- ⑤屋外空間において実現すべきこと —各項目の読み上げ、説明—

(4) 諸室の配置における留意事項 (5) その他配慮すべき事項

最後に(4)(5)では前述したもの以外の留意点をまとめています。

(4)は主に保育の考え方以外に留意すべきものを載せています。例えば送迎時に渋滞

を引き起こしにくくする配慮をすることや、園庭と駐車場の間には車が侵入しないように安全性を担保することなどの留意点を載せています。

(5) その他の配慮すべき事項としては、水害時に迅速に避難することを想定するとともに、基本的にこの保育園は洪水時の避難場所ではないので外に避難することとしていますが、浸水時は最小限の被害に抑えるため、盛り土をする必要があることと定めるとともに、一部を2階建てにし、すぐに非難することができない職員や園児が緊急的に避難できるスペースを確保することを定めています。

ほか、職員の方に必要以上に、通常業務に負担をかけないように設備等を配慮することや、耐久性や品質に配慮し、長寿命化できるよう工夫することを留意事項として定めています。

また、幅広い利用者を想定した配慮も必要であるため、バリアフリーやユニバーサルデザインの観点を取り入れることや、地域住民の暮らしと調和するよう、境界を過度につくらないよう配慮することなどを定めています。

・質疑応答

委員長) 事務局より説明が終わりました。質疑・ご意見のある方は、発言をお願いいたします。

委員) あんずの里保育園にあるような太陽光ソーラーパネルはつけるのでしょうか。

係長) 基本計画の中でも自然エネルギーを活用することとしており、最終的に設計時に太陽光にするかななどを協議していく内容になっていくのですが、市としては積極的にそういったものを取り入れていきたいという考えはあります。

委員長) ほかに何かありますか。

委員) 多様化に対して素晴らしい案が挙がっていると思いますが、実際に使う保育士さんたちの意見はいつ頃聞いて、いつの段階で取り入れるのでしょうか。設計する側の視点と、実際に使っている保育士さんの立場から見ると異なるかと思いますが。園児にとっても保育士さんにとっても使い勝手のいいものになってほしいと思いますので。

事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。お手元に配布したパンフレットのあんずの里保育園もそうなのですが、来年以降、この基本計画をもとに設計を行いますが、その段階で、まず屋代保育園の保育士だけでなく、全ての現場の、他の公立保育園の保育士さんの意見を聴取し、それを実際の設計に活かしていくという形で行います。あんずの里保育園でも要所要所で取り入れています。

委員) 現場の声としては「○○してほしい」と言ったのに取り入れてもらえなかった、ということがあります。

ほか、よくあるのは「冬」の対策です。冬の「雪」や「雨樋への落ち葉対策」と言った部分で、どうしてもデザイン重視になりがちなので、使い勝手といった面で、声を聞いてほしいなと思います。

また、すこし気になったのですが、園庭に凸凹を取り入れるとのことですが、水捌けの面で注意が必要かと思います。水たまりができれば蚊が発生しますし、園庭の遊びにも影響が出ます。どの程度の隆起か、水捌けがいい土質なのか、土の改良や勾配を作る必要があるか、などの工夫が必要だと思います。

事務局) ありがとうございます。冬に関する対策は長野県独自の気候条件がありますので、そういったものを含めていきたいと思います。来年度にボーリング調査をして、地質・土質の調査を行いますので、設計時に検討していきたいと思います。

委員) 現在の屋代保育園の園庭の水捌けがすごくいいです。50年前にどういった工事をしたのかは不明ですが、大雨が降っても数時間で排水校へ流れ、園庭には水が残らないようになっていますので、新園舎でもそうなるしてほしいと思います。

また、運動会でつかうトラックは確保しつつ、凸凹も配置するといった文言を入れてほしいなと思います。

委員) 先に出た太陽光ソーラーパネルの話に付け加えて、蓄電池もつけたらいいかと思います。災害時に、ハザードマップ上対策が必要な地域であるため、検討いただければと思います。

事務局) 確かにハザードマップ上では浸水する地域のため、低い位置に蓄電池を置いても浸水したら使えなくなってしまうので、高いところに設置するなど、配置面も考えつつ、取り入れていけたらと思います。

委員長) ほかにありますか。

委員) 運動会の保護者参観スペースを早いうちに考えていただけたらと思います。

また、現場の意見はすごく聞いてほしいと思います。先生側の意見というのを、外にいる人間ではなく、今実際に保育をしている方たちの声を聞いて進めていただけたらと思います。

そしてやはり駐車場問題で、前回もいろいろな意見がありましたが、台数はきつと送迎用15台、職員25台という台数でいくと思うのですが、駐車場の混雑は本当に大変なものです。道路の渋滞は、保護者がどんなに頑張っても起きてしまうので、そこはもう少ししっかり考えてもらいたいと思います。駐車場の中で車が動けるようにしたり、接続道路が通学路であることや交通量が多いことなどのへ対策をしたり、おそらく片側交互通行のみの対策だけでは無理があると思います。右へ行きたい方、左へ行きたい方も両方スムーズに動けるように、また歩行者の方の安全策なども具体的に対策していただけたらとも思います。

事務局) 運動会での保護者の方のスペースの確保など、幸い敷地は広く、スペースは取りやすいのでうまくレイアウトを考えていきたいと思います。あと、現場の声について

は重視させていただいています。先ほど課長からも説明がありましたように、基本設計の際に、市内の全公立保育園から話をいただく場を作りますし、あんずの里保育園でも完成後に意見が出た箇所がありますので、そういった課題も次回踏まえて進めていきます。

駐車場については、いろいろな意見が出ていますので、設計の中でしっかりと対策をとっていきたいと思います。

委員長) ほかに何かございますか。

委員) いろんな意見があると思いますが、専門家の方が考えていただいているので、細かい点はお任せしたいと思います。細かいことは言い始めたらキリがないと思いますので。

委員長) ほかにありますか。

委員) 今現在の屋代保育園で普段から渋滞が起きており、近隣から苦情が出ることもあります。新しい保育園でも園開放や役員会議があり、今の保育園は役員会議の際に、役員の車だけで駐車場が全て埋まります。そこで、今の保育園の跡地を第二駐車場として使うということはできないのでしょうか。

事務局) 現状の駐車場の台数が足りていないということで、今後の新園舎の駐車場対策としてアイデアをいただきましたが、屋代保育園の跡地の利用については、これから検討していくところでございます。皆さんからこういった意見が出たことはお伝えしていきたいと思います。それらを踏まえて検討していきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

委員) あんずの里保育園のパンフレットを見ると出入り口が3箇所ありますが、屋代保育園の新園舎は1箇所です。そこが一番気になっています。

そして、現状の保育園の駐車場が12台のうち2台職員が停め、あと2台はほとんど停められない状況なので実質的に8台しか止められない状況です。それが新園舎で15台に増えたところで、果たして渋滞が緩和されるのか疑問ではあります。職員駐車場を立体駐車場にするとか、出入口を増やすなどの対策が必要かと思っています。

委員) 保護者の意見も含めていったらいいと思います。また建設予定地は当初の予定よりだいぶ広くとれるようになっているので、全体的に建物をもっと西側にずらせば、駐車場を東側に広くとることもできると思います。あとは安全対策として、園舎を出てすぐに車のおりが激しい道路がありますのでしっかりやっていただけたらと思います。先ほどの保護者の希望ですが、あまり取り入れすぎるとまとまらなくなってしまうので、ある程度でいいと思います。

事務局) 実際に通っている保護者の方のご意見は本当に大事なものと思っていますので、パブコメの中で市民の皆様にご意見を募るので、そのタイミングで保護者の方からアンケート等で聞くことも検討します。道路への飛び出しですが、あんずの里保育園の

ように敷地と駐車場の境にフェンスを設置いたします。

委員) あんずの里保育園の建設にあたって、今回のような議事録を展開するような仕組みはあるのでしょうか。この意見というのは形や場所が変わっても、このような委員会を開かなくても過去にあった委員会を参考にしながら時間を短縮し、密度の高い意見の交換ができると思います。

また設計士さんは変えないほうがいいと思います。入札などの縛りがあると思いますが、せっかく議論したことが、また一から全部新たな設計士さんに伝達しなくてはならないので。時間も費用の面でも削減できると思います。是非とも検討していただきたいと思います。

事務局) ありがとうございます。前回のあんずの里保育園でも検討委員会を開いており、地形や地区などの違いにより全く違う部分もありますが、共通する部分もありますので、そういった部分を次の保育園にも活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

委員) そのことについて、少し述べます。あんずの里保育園も上山田保育園の時も、こういった検討委員会がありました。経験上から、設計の段階や前段階で、市内全保育士から意見を聞いていただき、途中経過の図面で「こういった条件ですよ、見てください」とか、「設計が現段階でこんな感じです、見てください」とか、その都度設計段階で文書や図面を出して、下の方まで伝えてくれました。すごい細かい部分も、そういったことを何回もやり取りしていただけてきました。そういったことを経験してきた、とてもよかったです。素人なので分からない部分もあり、設計図を見ても細かいところまで分からないので、全職員で頭を捻ることもありました。

平面上で確認しても空間認知の面で分からない事もありましたが、園の意見を取り入れるということをしていただいていたという状況だけを伝えておきたいと思います。

委員長) ほかに何かございますか。

委員) 前回は言いましたが、駐車場には、年に何回かはわからないのですが、バスが入るよう考慮しておいてください。これだけ凸凹していれば畑も作りやすいでしょうから、畑を作ることも計画に入れておいた方がいいと思います。

また、今の屋代保育園の跡地を駐車場として利用した場合、ショートカットする道として、園舎南側にある赤線（市道）を利用するかどうかといったことも、来年度の保育園の先生方を中心に、相談しておいた方が良いでしょう、という風に思います。

事務局) バスの話は前回も出ていましたので、設計の中で対応していきたいと思います。畑の話については、12ページに畑のことを記載してございますので、そういったところで入れていければいいかと思います。赤線（市道）の事については、活用方法を今後の設計の中でどこまで入れられるか明言できないのですが、検討していただきたいと思います。

委員長) ほかに何かありますか。 質疑・ご意見がないようですので、
(1) についてはよろしいでしょうか。

—拍手 同意を確認—

委員長) 皆さま、お疲れさまでした。以上で、すべての会議事項が終わりました。
皆様のご協力をおもちゃまして、滞りなく進行することができました。あらためまして皆様に感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。ここで議長を下ろさせていただきます。

4. その他

事務局) 議長をお務めいただきました小川委員長さんには非常にスムーズに会議を進めていただきまして、誠にありがとうございました。
会議次第の4. その他 でございますが、事務局の方から改めまして今後のスケジュールについて説明がございますので、よろしくお願ひいたします。

事務局) 今後の流れでございますが、今日いただいたご意見を踏まえて修正し、1月に入って中旬を目途に書面協議という形で皆様のご自宅に送らせていただきます。その回答を、ご意見のあるなしに関わらずいただき、最終調整をした上でパブリックコメントとして公表させていただきます、その後第7回の検討委員会を3月中旬ぐらいに実施したいと思いますので、その際はよろしくお願ひいたします

事務局) 第7回の次回の検討委員会は3月中旬ぐらいになる予定ですので、日程調整の上で、ご案内申し上げます。
その他に本日の会議事項以外のことや、会議全体を通して何かご意見等ございますでしょうか。

委員長) 先ほどの会議の中でありました、これまでの会議の中で言われていた駐車場のこと、現場の声を聞くということなどを、現場サイドから実際にそういったことを聞いたうえで委員の皆様の意見を聞いていただきたいと思うのですがどうでしょうか。

事務局) 期間的に短く、現場サイドの声がどこまで聞き取れるかここで確約できないのですが、できるだけそういった部分を含められるように検討したいと思います。ありがとうございます。

事務局) ほかに何かございますか。ないようであれば鎌田副委員長より閉会の挨拶をお願いします。

副委員長) それでは、以上をもちまして本日の会議は閉会といたします。
ご協力ありがとうございました。

6. 閉会 午後14時50分